

## 施策評価調書

### 1 施策の概要

(1)	施策名	男女共同参画に向けての意識改革					
(2)	総合計画の体系	第 1 章	すべての人がいきいき輝くまちづくり				
		第 3 節	男女共同参画のまちづくり				
		第 20 細節	男女共同参画に向けての意識改革				
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額	
		事業費(A)		21,665	20,332	20,656	
		従事職員数		2.37 人	1.60 人	1.70 人	
		所要人件費(B)		18,835	13,271	13,889	
		総事業費(A+B)		40,500	33,603	34,545	
		財源内訳	収入	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	0	0	0
				その他	66	72	79
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	40,434			33,531	34,466		

### 2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	26年度実績	27年度実績	28年度計画
指標内容	「男は仕事」「女は家庭」と思わない市民意識の割合(男性)	目標値 (単位:%)	60.00	60.00	60.00
		実績値 (単位:%)	48.60	55.40	
目標値の積算方法	男女共同参画に関する市民意識・実態調査(5年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	達成度(%)	81.0	92.3	
指標内容	「男は仕事」「女は家庭」と思わない市民意識の割合(女性)	目標値 (単位:%)	70.00	70.00	70.00
		実績値 (単位:%)	65.00	61.10	
目標値の積算方法	男女共同参画に関する市民意識・実態調査(5年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	達成度(%)	92.9	87.3	

### 3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

男女共同参画社会の実現に向けて、「吹田市男女共同参画推進条例」「すいた男女共同参画プラン」に基づき、市民・事業者・行政がともに、あらゆる機会を活用して実行性のある研修や啓発等に取り組む。男女共同参画づくりがより身近な問題として、あらゆる立場の人々にとって必要な取組という認識を広めていく必要がある。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	啓発事業	男女共同参画室	00161	全部	大	16	16	16	14	16	78	継続
2	男女共同参画センター啓発事業	男女共同参画室男女共同参画センター	01404	全部	大	20	16	20	20	14	90	継続
3	男女共同参画センター運営事業	男女共同参画室男女共同参画センター	00165	全部	大	18	18	20	18	14	88	継続
4	男女共同参画センター調査研究事業	男女共同参画室男女共同参画センター	00169	全部	大	14	14	14	20	18	80	継続
5											0	
6											0	
7											0	
8											0	
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		男女共同参画社会の実現を図るうえで、それぞれ必要不可欠な事業である。男女共同参画プランの推進という視点から男女共同参画室で行う啓発事業が最も重要であるため優先順位の1番とし、順位をつけた。										